

あとがき

前田 美樹

第26回関西フランス語教育研究会(ランコントル)は、3月30日、31日の両日、大阪日仏センター＝アリアンスフランセーズにて開催され、142名ものご参加をいただき、無事終了することができました。

ご参加いただきました animateurs の皆様、参加者の皆様、ご協力ありがとうございました。スタッフ一同感謝申し上げます。

今年のランコントルでは、35のアトリエと2つのシンポジウムが「教材の作り方/使い方」と「学びのコミュニティづくり」というテーマのもとでおこなわれましたが、そのほかにも、ケベックスタージュ報告から文学研究の未来を展望するアトリエまで、幅広いテーマを含みながら、活発な議論やワークショップが行われました。

特に印象的であったのは、近年めまぐるしく普及し、教育の現場においても広く注目されつつある Facebook や Twitter といったソーシャルネットワーク、YouTube、や iPad または、ホームページを利用したいわゆる *nouvelle technologie* を活用した授業の実践報告が多く見られたことでした。新しいツールが次々と登場する現代においては、われわれが携わる語学教育というものが、教育現場にとどまるだけでなく、さらなる広がり可能性を無限に広げていくということを感じさせるものとなりました。

こうした変化の時代においては、新しい問題もでてくるでしょう。それに対して、それぞれの教師がどのような問題をかかえながら、どのような実践を行っているのかを共有し、意見交換することが、フランス語教育のさらなる発展への歩みとなること、またランコントルがその場であり続けることを願ってやみません。

第26号となる本論集には、アトリエでの発表内容を中心とした計14本の論考が寄せられました。多忙な時期にもかかわらず執筆していただきました皆様に感謝いたします。